

2025 年度前後期
U E C 国際特別プログラム
「ランゲージパートナー」
ハンドブック

私費外国人留学生・日本人学生用

Handbook of UEC International Special Program
“Language Partner”

For Self-financed international students and
Japanese students

For Fall Semester, 2025



1. ランゲージパートナーについて

(1) ランゲージパートナー

「UEC 国際特別プログラム※1」では、国費外国人留学生特別プログラム採用者（以下、国費留学生）※2・私費留学生・日本人学生がグループとなり、「ランゲージパートナー」として互いに語学学習を支援し、異文化交流を促進しています。この活動を通じて、学生は相互理解力、助け合う力、そして人的ネットワークを広げる力を養います。

英語を母語とする留学生は少ないため、多くの参加者が英語学習者の立場で活動します。国費留学生の多くは初級レベルの日本語を学んでいますが、日本人学生や日本語が得意な留学生は、国費留学生が日本語を使う機会をサポートしてください。その際、会話の流れを損なわない範囲で適切な表現を助言してください。言語の誤りに気づいた際は、直接訂正するのではなく、質問の形で正しい表現を促すと効果的です。（例：「これは好きありません。」→「これは好きではないのですね？」）

※1：UEC 国際特別プログラム

国費留学生と私費留学生、日本人学生を対象とした共修教育プログラムを実施しています。国費留学生・私費留学生・日本人学生と一緒に参加できるイベントや科目を通じ、言語や文化の壁を越えて協働し、国際的に活躍できる力を育む機会を提供します。

※2：国費外国人留学生特別プログラム

文部科学省が実施する国費外国人留学生特別プログラムは、日本の大学に留学する学生を国費外国人留学生として優先的に配置することで、優秀な留学生の獲得体制を促進することを目的としています。このプログラムに採択された大学は、国・地域や留学生のニーズを把握し、特色ある教育研究サービスを提供するとともに、募集・採用からフォローアップまで一貫した支援体制を構築することが求められています。

(2) 参加対象学生 国費留学生、私費留学生、日本人学生

(3) 参加期間 1 学期単位

(4) 活動内容

①グループ活動※

主に次のような活動で、参加者同士の相互理解を深めてください。

- 課外活動（観光やスポーツ、オンライン交流など。特に内容の指定はありません。）
- 本特別プログラム指定の授業やイベントへの参加

※応募時の希望アンケートをもとにグループを編成します。ご希望通りにならない場合もありますので、ご了承ください。

②活動時のポイント

➤ お互いを知ることから始めてみましょう

一個人として相手を理解するだけでなく、互いの国や文化に対する理解も深めましょう。自分にとって当たり前のことが、相手にとっても同様に当たり前とは限りません。相互理解を深めるためには、国や文化について積極的に学び合う姿勢が大切です。

➤ 英語で行われる授業やイベントと一緒に参加する

英語で実施される授業、イベント、講演会、セミナーなどと一緒に参加し、その後、内容について意見交換やディスカッションを行いましょう。

➤ **持続可能なスケジュールで継続的に活動する**

無理のない活動スケジュールで、異文化コミュニケーションを継続しましょう。

➤ **学びや気づきを記録する**

活動中に学んだ表現、発見、感想などをメモし、整理しておくことで振り返りに役立ちます。

各学期の終了時に、その学期間に行った言語学習や異文化交流の内容をまとめた報告いただきます。

2. ランゲージパートナーに参加して得られるもの・役割

多様な学生が共に学ぶことで、言語や文化の壁を越えた相互理解と国際ネットワークを築けます。

私費外国人留学生

- 日本人の友人を作りたい学生や、日本社会にさらに溶け込みたい学生に最適です。
- 国籍の異なる留学生との交流も、ネットワーク構築に役立ちます。
- ランゲージパートナー活動を通じ、言語能力の向上も期待できます。

日本人学生

- 国際交流や海外での活躍を目指す学生にとって、留学生との交流は国際感覚を養う機会です。
- 留学生の立場に寄り添い、相手の視点を理解する姿勢が身に付きます。

期待される役割

- ランゲージパートナーとして語学学習を支援する
- お互いに友人関係を築く
- 指定・推奨授業やイベントに国費留学生と参加する
- 知人やグループを紹介してネットワークを広げる

3. UEC 国際特別プログラム参加・修了証

(1) 参加要件

下表①②：参加必須 下表③④：任意参加

(2) 修了証

以下の要件を全て満たした場合、ご卒業時に「プログラム修了証」を授与します。

■修了要件 A 学位課程修了（卒業）までに、下表①②③④の活動を満たしている。

■修了要件 B 学期毎に「活動報告書」を提出している。

提出期限：春学期 8月～9月の指定する日

秋学期 3月の指定する日

提出方法：Google Forms（別途通知）

報告内容：①履修または聴講した科目等

②UEC mini-Conference に参加した感想

③ランゲージパートナーの活動内容及び感想

④イベント等への参加状況等

（留意）要件を満たしたうえで、学位課程修了（卒業）以前にプログラムから退会された方は、卒業1ヶ月前までに、留学生交流係にご連絡ください。修了証を発行いたします。ご連絡がない場合は、修了証を発行することができません。

プログラム参加・修了要件	
①必須	ランゲージパートナーとして、異文化交流、語学学習の支援を行うこと。
②必須	UEC International mini-Conference for Students on Informatics, Sciences and Engineering (UEC mini-Conference) ➤ 使用言語 主に英語 ➤ 開催時期 各学期末 ➤ 私費生・日本人学生の役割 国費留学生はポスター発表や口頭発表を行います。 私費生・日本人学生は、聴講に参加して、積極的に質問や意見交換をししてください。 また、必要に応じて、発表準備のアドバイス等もお願いします。💡
③任意	■履修科目の条件 ➤ 所属する類・専攻の専門科目（専門上級科目を含む）を少なくとも1科目履修すること。 ➤ さらに、他類・専攻の専門科目、または次ページ「(2) 授業科目、イベント等」に示す科目群から少なくとも1科目を履修または聴講※すること。 （本プログラム参加前に現課程で単位取得済みの科目も要件として申請可能です。申請は学期末の活動報告時に行ってください。） ※聴講 他類・専攻の専門科目の聴講を希望する場合は、まず授業担当教員に直接連絡し、聴講の許可を得た後、留学生交流係に聴講科目を報告してください。「(2) 授業科目、イベント等」に記載された科目の聴講を希望する場合は、留学生交流係が授業担当教員に連絡しますので、留学生交流係に相談してください。
④任意	共創進化スマートセミナー 【主要言語：英語】 国内外の大学、研究所、NPO、国際協力機関、企業など、さまざまな分野で活躍する研究者・技術者を講師として招き、講演および参加学生との意見交換を行います。国内外の先端研究者から最新の知見やアイデアを得ることで、自身の研究成果を社会実装に活かす視点を養うことができます。また、主要言語は英語で行われるので、国際的な研究交流や討論の経験を積むことができます。

(3) 推奨する授業科目、イベント等

【科目群】プログラム修了要件③の対象となります		
BAIS 系デザイン思考・データサイエンス	単位取得可能 全専攻 【主要言語：日本語／英語】	➤ グループ構成：多言語・多国籍の学生グループ ➤ 内容：データサイエンスや機械学習の実践家コミュニティが提供する公開競技プラットフォーム Kaggle (カグル) を用いた課題解決演習 ➤ 目的：課題解決能力やコミュニケーション能力の涵養する。 また、Kaggle を通じて、基礎レベルから応用レベルの学生まで、幅広く実践的な BAIS (Data Science / Business Analytics) 教育を提供する。 ➤ 期待される成果：チームで協力してデータ分析課題に取り組む経験 学際的・国際的な視点での問題発見と解決スキルの向上 実社会で活用可能なデータサイエンス技術の習得
M/MES 系教えて学ぶ実験プログラム	単位取得可能 全専攻 【主要言語：日本語／英語】	➤ グループ構成：多国籍学生グループ ➤ 対象分野：光科学などの物理分野（本学のトップレベル研究者が指導） ➤ 内容：本学が有する豊富な実験機器・設備を活用 学生自身が取り組んでいる研究課題を基に、他者に教えるための実験教材を開発 既存の「教える実験プログラム (Elementary Teaching Laboratory)」に、共修（協働学習）システムを組み込み実施

		目的・育成する能力：自ら問題を設定する力、解決方法や探求方法を見出す力 学際的・国際的な視点での研究課題理解と応用力
国際科目	単位取得可能 全類 【主要言語：英語】	➤ 概要 留学生と一緒に履修できる授業として、短期留学インバウンドプログラムの授業科目を、国際科目として学域の正規生にも開放しています。 ➤ 単位認定 一部の国際科目は、学域および大学院（大学院連携科目として）の卒業・修了所要単位として認定可能です。 ➤ 参考リンク 国際科目の詳細（単位認定等）：http://www.fedu.uec.ac.jp/current/guide/academic-advisory-system/undergraduate-and-graduate-courses-and-credits.html 時間割・科目一覧（前学期）http://kyoumu.office.uec.ac.jp/timet/kokusai1.pdf （後学期）http://kyoumu.office.uec.ac.jp/timet/kokusai2.pdf
BHN 桑原基金寄附講座	単位取得可能 全専攻 【主要言語：英語】	本科目は、認定特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会より贈呈を受け、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」に関わる高い志の人材育成を目指して、英語により開講される科目です。 ➤ SDGsを支える情報通信論 Information and Communications Technologies for SDGs（前期開講） 学期中 15 回の授業があり、学期の終盤に合宿形式の特別授業が行われます。経費面での学生負担は生じない予定ですが、必要があれば本プログラムとして支援することができます。（大学院生のみ単位取得可。学域生は聴講のみ可。） ➤ 国際科学技術コミュニケーション論 International Communication for Science and Technology（後期開講） 学期中 15 回の授業があり、授業の後期に演習があります。全履修学生が合同で発表・討論を行います。（大学院生のみ単位取得可。学域生は、聴講のみ可能。）
国内インターンシップ・国際インターンシップ	単位取得可能 全類、全専攻	➤ 対象 国内インターンシップ：主に国費・私費留学生 国際インターンシップ：主に日本人学生 ➤ 概要 学生のキャリアプランに応じて、国内外のインターンシップの機会を提供します。 国内インターンシップ：日本国内企業等への就職を目指す学生向け国際インターンシップ：海外での就職や国際的なキャリア形成を目指す学生向け ➤ 期間 本学での教育・研究活動に支障をきたさないよう、最長で 1.5 か月程度を想定 ➤ 詳細・申込情報 https://www.uec.ac.jp/campus/career/internship.html
オープンラボワーク	単位取得可能 全専攻 【主要言語：日本語／英語】	➤ 対象：大学院生（国費・私費留学生、日本人学生） ➤ 内容：オープンイノベーションプログラムにより開講されるオープンラボワーク（専門科Ⅱ、4 単位の実験科目）を受講可能 学外研究機関での実践的な研究活動を提供 指導教員の提案に基づき、共同研究先でのラボワークに参加できる場合もある ➤ 学外研究機関の実績 国立天文台、国立極地研究所、情報通信研究機構、東京農工大学など ➤ 詳細・参考リンク http://www.oi.es.uec.ac.jp/2021/index_e.html

参加推奨イベント等		
UEC ASEAN セミ ナー	【主要言 語：英語】	➤ 概要 本学と ASEAN 地域の協定校が共催する国際会議です。研究者・学生が国際的な場で発表や議論を行い、学術交流を深めることを目的としています。 ➤ 2025 年度の開催例 共催： Burapha University (タイ) 開催形式：タイ現地およびオンライン ➤ 詳細・参考リンク http://www.uarc.uec.ac.jp/2025UEC_Seminar/
USSET (UEC SAARC)	【主要言 語：英語】	量子技術、量子シミュレーション、人工知能・機械学習等の分野をテーマにインド、パキスタン等の大学と開催する国際会議です。 https://sites.google.com/gl.cc.uec.ac.jp/usset2023/home
オープンラ ボワークツ アー	【主要言 語：日本語 ／英語】	オープンラボワークに関連する施設をツアー形式で見学します。実施時は、その都度参加者を募ります。 http://www.oi.es.uec.ac.jp/2021/index_e.html#openlabwork
短期海外研 究留学等		➤ 対象：将来的にアカデミアを志望する日本人学生 ➤ 内容：短期海外トレーニングプログラム（タイ・中国などへの派遣） ラボ間交流のある海外研究室への研究留学 ➤ 目的：海外での研究経験を通じて、学術的能力や国際的視野を養う ➤ 期間：本学での教育・研究活動に支障をきたさないよう、最長で 1.5 か月程度を想定 ➤ 実施方法：研究留学先のアレンジは学生本人が行う（指導教員等を通じて探す） 特別プログラム実施委員会での手配は行わない ➤ 奨学金手続き：JASSO 協定派遣等の奨学金の受付・支給手続きは、留学生交流係が担当
GLTP UEC コンファレ ンス	【主要言 語：日本語 ／英語】	本学 GLTP 生を中心とした学生主催のセミナーです。年間 15 回の開催を予定しており、そのうち約 3 回は、国費外国人留学生および私費外国人留学生が企画・運営することを想定しています。 https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/activity/global-leader.html

※その他、期間中に特プロ委員会から参加を推奨しているイベントをメールでお知らせをいたします。

4. UEC 国際特別プログラムのスケジュール（例）

秋学期	春学期	内容
10 月上旬	-	入学式
10 月上旬	4 月中下旬	新規参加者向けガイダンス
10 月～3 月	4 月～9 月	・専門科目等の履修 ・ランゲージパートナーとして活動 ・イベント等参加
2 月上旬（春季休業直前）	8 月上中旬（夏季休業直前）	UEC mini-Conference 参加

5. 問い合わせ先

学術国際部国際課 留学生交流係

TEL：042-443-5114、5117

EMAIL：iso@office.uec.ac.jp

以上